

ごぶごぶ ごぼごぼ

駒形克己 作



福音館書店 1999年 571円

「ぷく ぷくぷくん」「ざぶざぶ ざぶん」といった、水を連想させる短い言葉とともに、赤、水色、黄色、青などのカラフルな丸が、さまざまな形に変化していきます。子どもたちは、この不思議な言葉のリズムを楽しみ、また、丸くりぬかれた穴にそっと指を入れて、楽しむこともできます。特に、0～2才くらいの子どもたちにおすすめの1冊です。

じどうしゃ

寺島龍一 画



福音館書店 1966年 743円

走っていく乗用車につれて、トラック、タンクローリー、パトカー、消防車などの車が次々に登場します。それぞれの自動車が、写実的に正確に描かれています。字のない絵本です。ページをめくるたびに1台ずつ走る車が増えていき、道を走る車の動きがよくあらわれています。初版が古く、自動車の型は古めかしく感じられますが、町を走る自動車に興味を示し始めた子どもが、十分に楽しめる1冊です。

じゃあじゃあびりびり

まついのりこ 作



偕成社 2001年（初版1983年） 600円

「じどうしゃ ぶーぶーぶー」「いぬ わんわんわん」「みず じゃあじゃあびりびり」など、赤ちゃんの身のまわりのものの絵とそれが出す音が並んでいます。知っているものばかりなので赤ちゃんの興味をひきます。声に出して音の響きを楽しんでください。音の感じにあわせて絵と字が配置されています。手のひらサイズのボード絵本は持ちやすく、製本もしっかりしています。「まついのりこあかちゃんのほん」シリーズは「じょうじょうず」などがあります。